

平成28年度 村上市岩船郡小学校教育研究会体育部 活動報告

部長 小野 浩由

1 研究主題 「体育的学力を保證する授業の工夫」

2 今年度の活動

- ①第1回体育部会 研究主題、事業計画確定 4月28日(木) 村上総合文化会館
 - ②第2回体育部会 指導案検討会 8月19日(金) マナボーテ村上
 - ③第3回体育部会 研究授業 11月29日(火) 岩船小学校
- 単元名：鉄棒運動(3学年)
○授業者：村上市立岩船小学校 教諭 青野 兼太郎
○指導者：村上市立さんぼく北小学校校長 小林 幹雄 様

3 研究の実際

(1) 研究授業について

授業者は、本時のねらいを、「技のポイントを理解し、友だちと教え合ったり、補助具を利用したりすることで、脚の振り上げとともに上体を後方へ倒し、手首を返して鉄棒に上がること(補助逆上がり)を習得することができる」とし、次の手立てを講じて授業を行った。

①ポイントを意識して正しく行わせるために

- ・授業の初めに、「跳び下り」「前回り下り」「足抜き周り」のリレー(写真1)を行うことで、逆上がりに必要な逆さ体験や腕支持の技能を身に付ける。
- ・ポイントを振り返るために、電子黒板で動画(写真2)をいつでも見られるようにしておく。

②進んで運動を行わせるために

- ・技のできるポイントだけでなく、そのための練習方法も明示する(写真3)ことで、児童が自分で練習方法を自ら選び、進んで取り組む(写真4)ことができるようにする。

③工夫して逆上がりに取り組ませるために

- ・ワークシートをだるま回りの学習から使い、系統立てることで、具体的な振り返りができるようにする。



写真1 鉄棒リレーの様子



写真2 電子黒板の動画



写真3 練習方法の明示



写真4 できるポイントの練習

(2) 協議会について

○「体育的学力」を保證する授業がされていたか

- ・ワークシートが精選してあるので、「現段階で逆上がりのどこまでできるのか」と「できるポイント」とを比較でき、「何を」「どう練習したらよいのか」が明確であった。児童が自ら練習方法を選択して練習していた。

○児童が「自分に合った練習」を考え、実践するための支援は適当であったか。

- ・児童が立てためあてと「自分に合った練習」が合っていなかった。めあての立て方はある程度教師で方向性を示して練習方法を探らせたり、全体で共有してめあてを振り返らせたりすることも有効であったのではないかと考えられる。

4 成果と課題

○今年度から新しく研究主題を設定した。指導案検討会や研究授業を通して、研究主題に迫ることができた。

○さんぼく北小学校の小林幹雄校長先生に指導をお願いし、これからの体育で求められる「体育的学力」についてご指導いただいた。運動技能を高める知識を身に付け、それらを自ら追究していくことで技能を高めていくことであることを確認することができた。来年度の研究の方向性について共通理解を図ることができた。